

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<p>・うつくし作戦のけん引役である推進隊が136団体(H28:85団体)、身近な環境保全活動に取り組むうつくし隊が146団体(H28:87団体)となるなど活動の基盤強化を図ったほか、推進隊が地域住民と共に花いっぱい運動や環境視点での災害復興活動等を実施したことで、地域の活性化につながった。</p>
	<p>・幼児向け環境劇は、公演先の幼稚園等からの要望も多く、30団体3,520人(H28:27団体1,825人)を対象に実施し、環境保全意識の醸成に大変効果的であるとの評価を受けている。</p> <p>・子どもを対象に自然体験活動を年間を通じて行う、おおいたこども探検団事業を13団体(H28:11団体)が実施したことで、子どもの環境意識が高まった。</p> <p>・環境教育アドバイザーによる親子参加型の企画講座(10回開催)を実施したことで、家庭における環境教育の機会を提供することができた。</p>

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	おおいたうつくし作戦推進事業	39,466	B	継続・見直し	103
	クリーンロード支援事業	18,000	A	継続・見直し	229

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>おおいたうつくし作戦県民会議(H29.5)</p> <p>・国民文化祭やラグビーワールドカップ等の国民的行事を、うつくし作戦の取組をワンランクアップさせる機会と捉え、うつくし作戦を県民に浸透させて取り組み、後にレガシーが残る社会をつかっていくことが必要である。</p>	
---	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・うつくし推進隊やうつくし大行動参加者数、キャンドルナイト参加施設数の増加など、地域活性化型の「おおいたうつくし作戦」を推進し、県民意識の更なる醸成と持続可能な活動の基盤づくりを推進する。</p> <p>・国民文化祭やラグビーワールドカップ等と連動した「環境視点のおもてなし」活動を実施することにより、「おおいたうつくし作戦」の浸透を図る。</p> <p>・環境劇について、より多くの幼児に楽しみながら環境保全の大切さを理解してもらうため、幼稚園等での公演に加え、民間施設を活用した公演を行うことで広く参加者を募り、次世代を担う人材の育成を図る。</p>